

**製品名: RIP ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe86877**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, FC, IP
反応性	ねずみ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:100-1:200, FC 1:200-1:500, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:75 kDa; Observed MW:75 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	RIP
別名	RIP; Rinp; Rip1; D330015H01Rik
遺伝子ID	19766
SwissProt ID	Q60855
免疫原	マウス RIP の組み換えタンパク質

**背景**

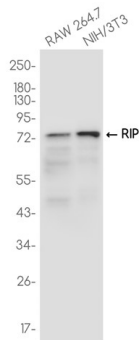
セリン-スレオニンキナーゼは、デスレセプターのライゲーシオン、病原体認識受容体（PRR）の活性化、および DNA 損傷に続い

て、炎症および細胞死シグナル（プログラム壊死）を伝達します。TNF- $\alpha$ ファミリーサイトカインによって TNFR1 が活性化されると、TRADD と TRAF2 が受容体にリクルートされます。TNF- $\alpha$  依存的に DAB2IP の「Ser-728」をリン酸化することで、MAP3K5-JNK アポトーシスカスケードを活性化します。TRAF2 による「Lys-63」リンクチェーンを介したユビキチン化は、ミトジェン活性化プロテインキナーゼ経路および NF- $\kappa$ B 経路における下流シグナル伝達因子とのコミュニケーションの重要な促進因子として機能し、炎症性分子をコードする遺伝子の活性化を含む下流イベントを媒介します。

## 研究分野

-

## 画像データ



RAW264.7、3T3 細胞抽出物を RIP ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でウエスタンブロット分析しました。